

システム監査技術者 解答例

【午 後 I】

問 1 (配点 50 点)

設問 1 (10 点)

検知されるべきイベントや自動判定されるべきインシデントが見逃される。

(別解) 本来通知されるべきインシデントが B 社 CSIRT に自動的に通知されない。

設問 2 (10 点)

情シ兼任社員が実施したトライアージ結果の確認とインタビューによって、対応の適切性を確かめる。

設問 3 (10 点)

B 社グループ各社の情報基盤に関する最新の情報を常に共有し、対応方法の統一化を図る。

設問 4 (20 点:(1)10 点, (2)10 点)

- (1) 外部のインシデント関連情報が適時に入手できず、同様のインシデントの発生が防げず、適切な対応も行えない。
- (2) インシデントの影響が外部に及ぶおそれがある場合、報告や公表などの外部への対応が遅れ、被害が拡大する。

問 2 (配点 50 点)

設問 1 (10 点)

顧客影響一覧について、両社利用部門の作成への参加や両社利用統括部門長の承認が証跡で確認できるか。

設問 2 (10 点:5 点×2)

- ① ST 中間報告書
- ② システム統合委員会議事録

設問 3 (20 点:10 点×2)

- a : 条件に応じて見直され、部門長などの責任者が承認した証跡があるか確認する。
- b : 各判定項目の判定手続が、判定条件を十分に満たすものであるか確認する。

設問 4 (10 点)

訓練結果報告書で提示された問題点が解消できるように CP が見直され、責任者に承認されているか確かめる。

問 3（配点 50 点）

設問 1（10 点）

T 課長が進捗報告や課題の報告を受けているか、指定成果物の承認をしているか確認する。

（別解）各チームリーダーにインタビューし、T 課長が PM としての役割を果たしているか確認する。

設問 2（10 点）

P 社が率先してプロジェクトを推進できる体制になっていない。

（別解）現状の PMO の位置付けでは、課題の解決に直接関与できない。

設問 3（10 点）

プロジェクトの重要な意思決定や承認が迅速に行われず、プロジェクトの進捗に遅れが生じる。

設問 4（10 点）

進捗会議での報告内容の変化に応じて、管理業務の内容の改善などの対応が適切に行われているか。

設問 5（10 点）

要件定義書の委託先への引継ぎが確実に行えるように、十分な期間と要員が確保される計画となっていたか。

以上